

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

びゅうプラザにおける店舗運営の見直しについて提案を受ける

4月12日、支社より「びゅうプラザにおける店舗運営の見直しについて」提案を受けました。
提案内容は以下のとおりです。

1 実施内容

(1) びゅうプラザの業務移管

川崎駅

※株式会社びゅうトラベルサービスに業務移管する

(2) びゅうプラザの運営終了

大船駅、平塚駅、武蔵溝ノ口駅、町田駅

2 教育・訓練

必要な教育・訓練は実施する。

3 実施日

(1) 2019年9月1日実施

びゅうプラザの運営終了…平塚駅、武蔵溝ノ口駅、町田駅

(2) 2019年11月1日実施

びゅうプラザの業務移管…川崎駅

(3) 2020年4月1日実施

びゅうプラザの運営終了…大船駅

【2019年9月1日実施】

箇所名	長	助役	営業	輸送	計
平塚駅	1	5	25 → 20	9	40 → 35
武蔵溝ノ口駅	1	5	24 → 17		30 → 23
町田駅	1	5	29 → 20		35 → 26

【2019年11月1日実施】

箇所名	長	助役	営業	輸送	計
川崎駅	1	14	43 → 32	4	62 → 51

【2020年4月1日実施】

箇所名	長	助役	営業	輸送	計
大船駅	1	14	38 → 29	19	72 → 63

提案の説明として支社は…

これまで店舗においてお客さまに商品をお求め頂いてきたが、オンライン化が進み経営環境が加速して変わっていくなか、今回店舗運営を廃止し、お客さまには引き続きインターネットでのご利用を強化していく。3年前と比較してもインターネットでのご利用が非常に伸びている反面、店舗をご利用のお客さまは半減している。これまでびゅうプラザは旅行商品を販売やアフターフォローを行っていたが、それを今後は商品の販売はインターネットに特化していき、その後のアフターフォローについては店舗を絞って東日本全エリアでカバーしていくことを考えている。「びゅうプラザ」という名称は2022年4月までには無くなる予定で進んでいる。いくつかの店舗がびゅうトラベルサービスに移管される訳だが、移管後の店舗においては顧客接点型拠点として旅行されているお客さまのフォロー等は引き続き行なっていく。時期についてはお客さまのご利用状況や、「およなの休日倶楽部」等会員のお客さまがいらっしゃるのでフォロー実態や数・規模の違いだと認識してもらいたい。

施策実施後の要員関係については、個々に色々な選択肢がある。希望については丁寧に把握し考えていくべきものだと思う。当然坦務が変わってくる社員もいるだろうし、店舗においてはお客さまフォローとして一定期間残務処理等必要になることや様々なケースがあると捉えている。

不安・疑問点解消に向け、議論をつくり出そう！！